

宮古発

たろう観光ホテル公開

国の復興交付金事業第1号として保存が決まった宮古市田老地区の震災遺構「たろう観光ホテル」の整備が完了しました。たろう観光ホテルは推定17メートルの津波に襲われ4階まで浸水しました。震災後、国の復興交付金の配分が決まり、市が土地と建物を買取った上で整備工事を進めてきました。2年ぶりに公開された建物は、海水をかぶった柱などにさび止め塗装が施されています。ビデオ上映のための部屋を増やしたほか、訪れる人のため屋外に駐車場とトイレが新たに設けられました。たろう観光ホテルは4月1日から震災の被害を伝える取り組み『学ぶ防災』で活用されることになっています。(3/25 ニュースエコー)



大槌発

大槌工場を再建

水産加工会社小野食品(本社・釜石市)が被災した大槌工場を再建しました。小野食品は2011年2月に大槌町に工場を建設しましたが、東日本大震災で工場は全壊しました。新工場は鉄骨2階建てで、延べ床面積は2334平方メートルと被災した前の工場の1.5倍の規模です。衛生管理が徹底された魚を切り身にする1次加工ラインや一般向けの見学スペースも設けられています。(3/25 ニュースエコー)



山田発

民謡カフェ「追分」

津波で被災した山田町の中心部に憩いの場を提供しようと、陸中山田駅跡地そばに地元民謡愛好家が民謡カフェ『追分』をオープンしました。店主の新保さんは仮設住宅で暮らしながら山田民謡伝承会の会長として特技の民謡を披露し、慰問を続けてきました。カフェは再建した自宅の隣りに建設され、テーブルとカウンター席が用意されています。新保さんが一番好きと言う「江差追分」をはじめとする民謡が店内に流れています。(3/27 ニュース)



盛岡発

復興推進本部会議

県は今年度最後となる復興推進本部会議を開き、来年度完成する災害公営住宅が今年度の4倍以上の843戸であることを報告し、仮設住宅での生活からの移行が本格化するとの見通しを示しました。一方、来年度の被災市町村への応援職員は、731人の要請に対し、661人とどまっていることが報告されました。引き続き自治体のマンパワー不足が懸念されています。(3/29 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの箱石文彦さんが、4月3日宮古港に寄港する「ばしふいっくびいなす」について伝えてくれました。客船「ばしふいっくびいなす」は総トン数2万6千594トンで客室数238室、最大船客定員620人の豪華客船です。宮古への寄稿は7回目です。「三陸復興国立公園クルーズ」として、3月31日に横浜港を出港し、石巻港、釜石港を巡り、最後の寄港地として宮古港に入港することです。(3/30)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122